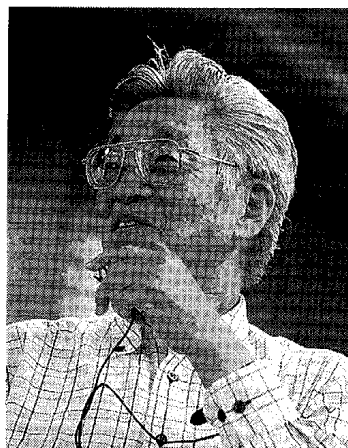


# 宇波彰教授 経歴及び著述等目録



## 経歴

昭和八年一月 静岡県浜松市に生まれる

## 学歴

昭和三〇年三月 東京大学文学部仏文科卒業

昭和三四年三月 東京大学文学部哲学科卒業

昭和三七年三月 東京大学大学院人文科学研究科（哲学）修士課程修了

## 教職歴

昭和三四年四月 埼玉県立川越高校教諭

昭和五五年四月 埼玉県立所沢高校教諭

平成二年三月 埼玉県立所沢高校退職

平成二年四月 明治学院大学文学部教授

平成一三年三月 明治学院大学退職

平成一三年四月 札幌大学文化学部教授

平成一七年三月 札幌大学退職

平成一四年以降の仕事

平成一四年

「読むことの危機」(「社会文学」一六号、平成一三年一二月)

「ネルヴァルとシクロフスキー」(札幌大学「山口文庫通信」五号)

「長谷邦夫論」(水声社、『長谷邦夫漫画大全』解説)

「中米で見たもの」(「千年紀文学」九月三〇日号)

「グローバリゼーションとネオコロニアリズム」(「新日本文学」一二月号)

平成一五年

「帝国の二つの概念」(「情況」二〇〇三月号)

トドロフ『未完の菜園』書評(「図書新聞」三月八日)

「不気味な現代の都市」(「神奈川大学評論」四四号)

「イデオロギー的国家装置とアメリカのメディア産業」(「新日本文学」七〇八月号)

「イースター島で見たもの」

「大杉栄とベルクソン」(「新日本文学」九〇一〇月号)

「退廃する現代知」(「千年紀文学」四五号、八月一日)

「アルバニアで考えたこと」(「千年紀文学」四六号、一〇月一日)

平成一六年

「パラオの苦い海」〔神奈川大学評論〕四七号、平成一六年四月

「バンガラデシユの喧噪と緑」〔千年紀文学〕平成一六年三月

「ガタリの機械（情況）六月号」

「文化の継承と断絶」〔千年紀文学〕五月三一日

柏木博『しきりの文化論』書評〔東京新聞〕七月二一日

「黒海からの手紙」〔千年紀文学〕平成一六年九月三〇日

内田樹『死と身体』書評〔東京新聞〕二月七日

「マルチチュードの哲学」〔アソシエ〕一四号、一二月

「中国の光と影」〔千年紀文学〕一二月三〇日

平成一七年

「現代メディアのオリエンタリズム」〔神奈川大学評論〕四九号、平成一六年一二月

「ジャール平原の不発弾」〔千年紀文学〕平成一七年一月

「帝国のスクリーン」〔アソシエ〕一五号、平成一七年二月

単行本

『力としての現代思想』

論創社

平成一四

『旅に出て世界を考える』  
『「帝国」を考える』

論創社 平成一六  
共著、双風社 平成一六

主著 (平成13年以前)

『言語論の思想と展開』  
『引用の想像力』  
『批評する機械』  
『記号のエコロジ』  
『批評のパトロジ』  
『メデューサの眼』  
『同時代の建築』  
『誘惑するオブジェ——時代精神としてのデザイン——』  
『反市民の文学——対話的批評を求めて——』  
『改訂版 引用の想像力』  
『誘惑するメデイア』  
『記号論の思想』  
『映像化する現代』  
『デザインのエートス』

三一書房 昭和四七・二  
冬樹社 昭和五四・三  
ナツメ社 昭和五五・一〇  
青土社 昭和五八・五  
青土社 昭和六一・九  
青弓社 昭和六一・一一  
青土社 昭和六三・六  
紀伊国屋書店 平成三・二  
白地社 平成三・九  
冬樹社 平成三・一〇  
自由国民社 平成六・六  
講談社 平成七・三  
ジャストシステム 平成八・二  
大村書店 平成一〇・一二